



彼女

ネット

ん...

そんなこと
させられない

はー

絶対百戦
十勝からな!







へー、面白いもの
見てんね



俺が見てたんだぞ！

誰のおかげで
この本の事知れた
と思ってるんだ

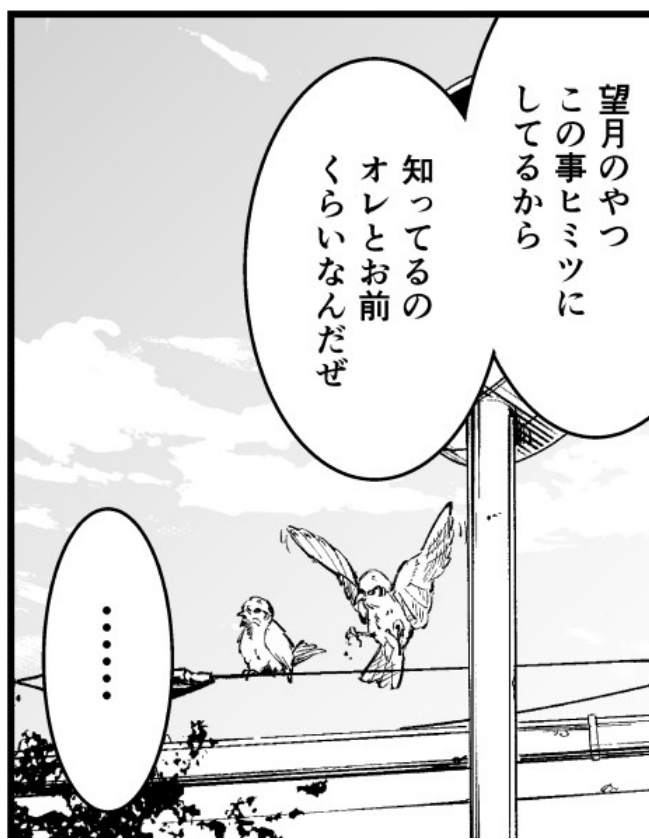
この号に
望月が出るって
教えたのは
俺だろ？



あ



いやでも
嫌がってたわりに
凄いなコレ



望月のやつ
この事ヒミツに
してるから

知ってるの
オレとお前
くらいなんだぜ

.....



なにー！
彼女2人もいる
くせに抜け駆け
したのかー？



おい瑠唯
なんで望月が
嫌がってた
なんて
知ってんだよ

だってさっき
そう言ってたし



まあ、さっきその
公園で立ち話した
だけだけだな

たまたま知り合いの
編集の人に

モデルがドタキャン
したから代わりに出てくれ
ってお願いされちゃって

ふーん



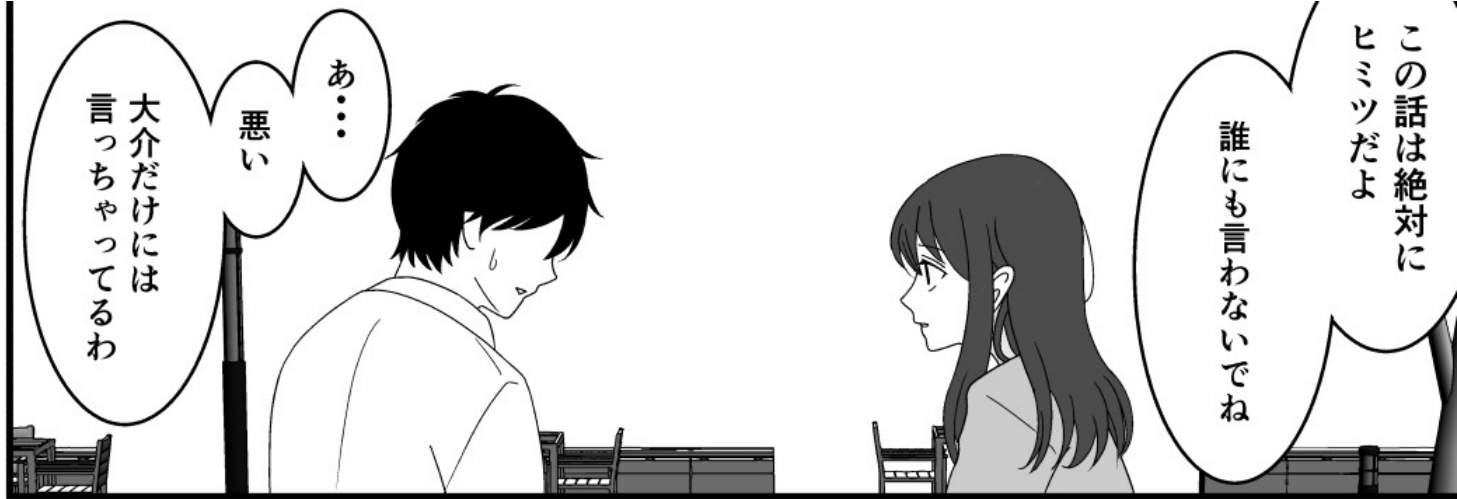
変なポーズ
とらされるし...

見たいなソレ



ただニコニコしてれば
いいって言われたから
引き受けたのに

水着なんて聞いて
なかったのよ...



この話は絶対に
ヒミツだよ

誰にも言わないでね

あ…

悪い

大介だけには
言っちゃってるわ



え

オレの名前
出したのか？

しかし

あの時の顔…

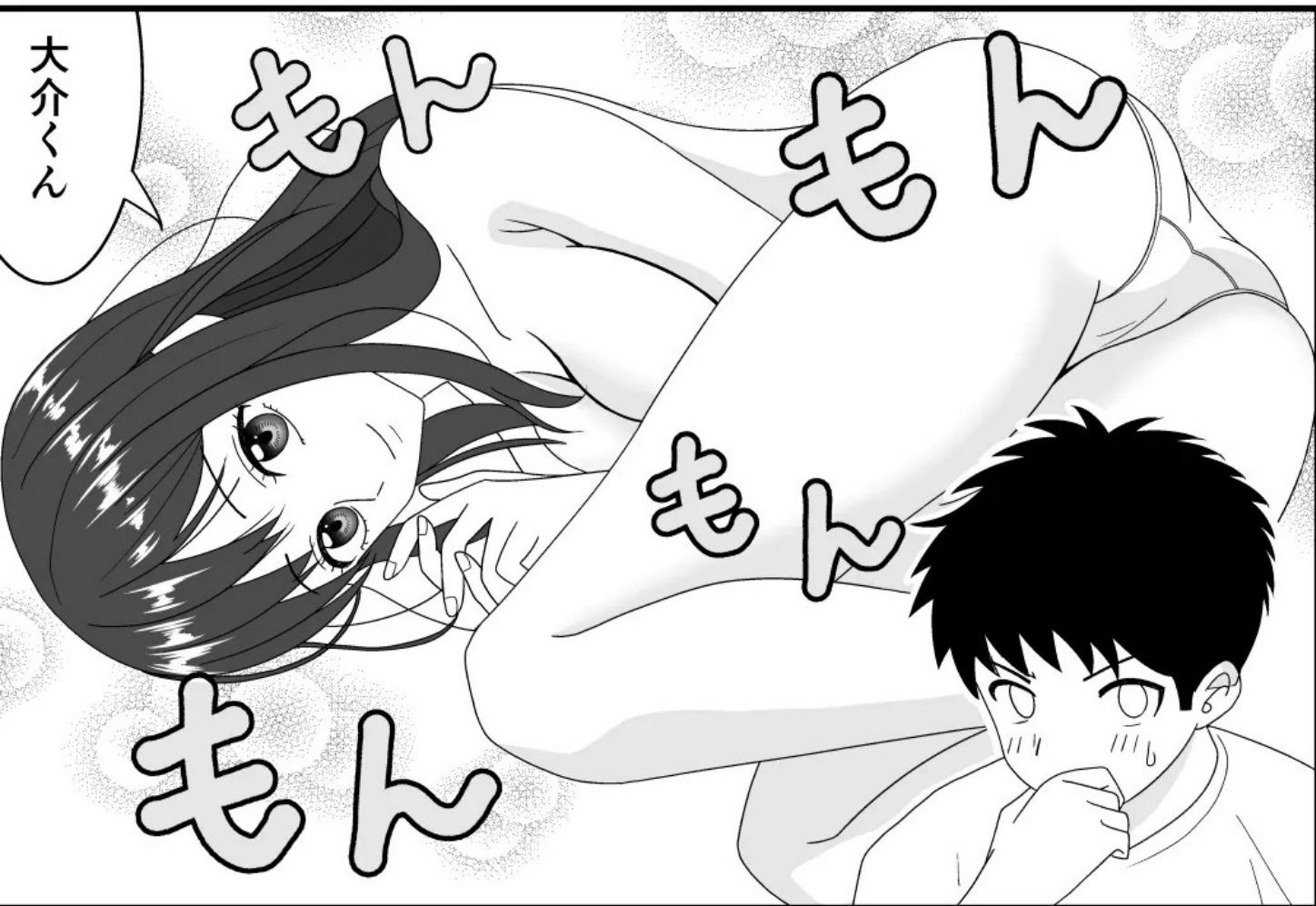


意外とお前
脈あるのかも
しれないぞ

なっ



大介にしゃべった
って言った時の
望月の表情…





実際には付き合う
のもムリだろー

さつきは一瞬だけ
脈あるかもって
感じたけど、



いきなり
結婚って…

だって朝起きたら
すぐ望月に
会えるんだぞ

幸せすぎる！

おはよ



望月は運動も
勉強もできて

実力だけでなく
人柄も兼ね揃えた

校内だけでなく
他校の生徒にも
人気の

雑誌に載るほどの
アイドルなんだぞ



一方
お前は

バスケの成績は
そこそこだけど

人気なんて
まったくくない

運動だけが取り柄
の一般ピーポー
だろ…

お前が惹かれる
のもわかるけど

まさに高嶺の花

レベルが違い
すぎるだろ

...

一般ピーポーなりに

頑張ってみるよ

瑠唯の言うことも
わかるけどさ

うーん
気のせいだったかも

でもさ、さっき
脈があるかもって
言ってくれただろ

まあ、そのうち
告白するからさ

その時は応援
してくれよな

3ヶ月後



ちよっ

望月は有名人なんだから
もう少し離れたほうが…

まさか大介くんの
ほうから告白

してくれる
なんてねー

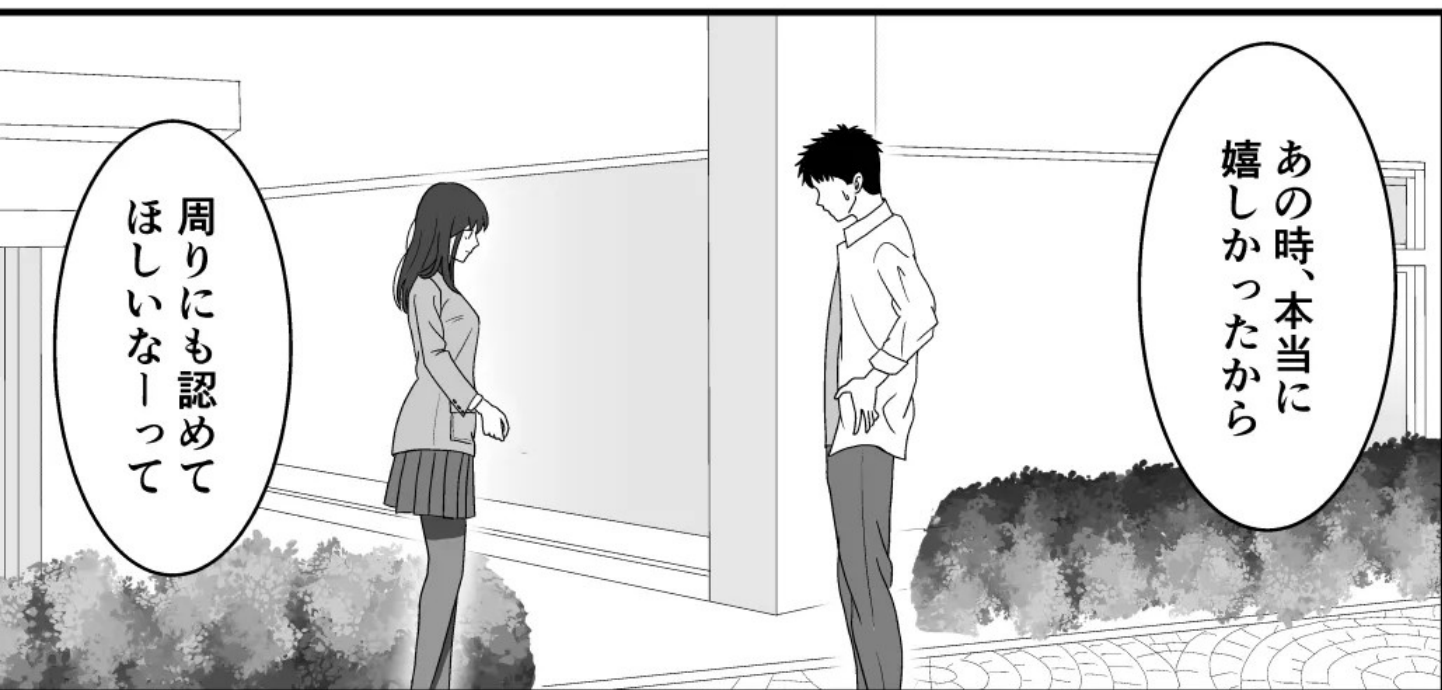
お互い目立たない
ほうが平和な

学園生活が送れる
かなーって…

おにやう…

ん？

なんで？





本当に今でも信じられない...

大介くん



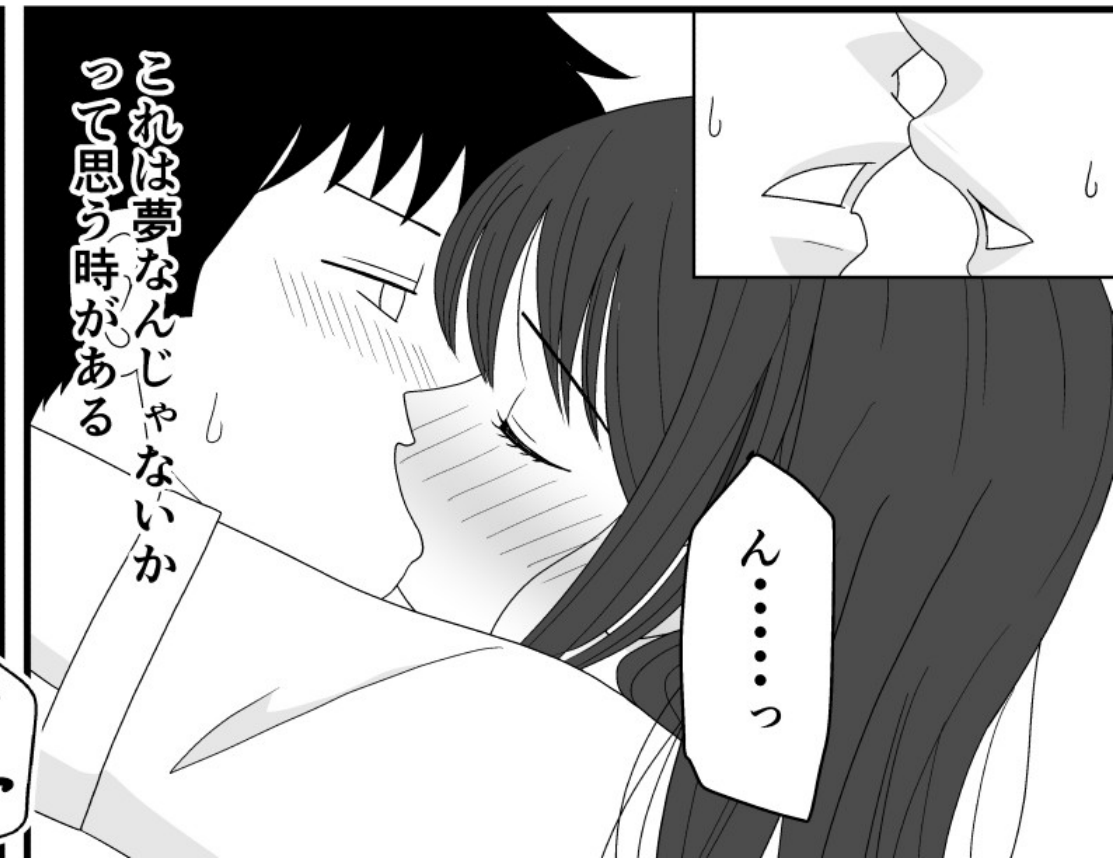
望月...



くちや

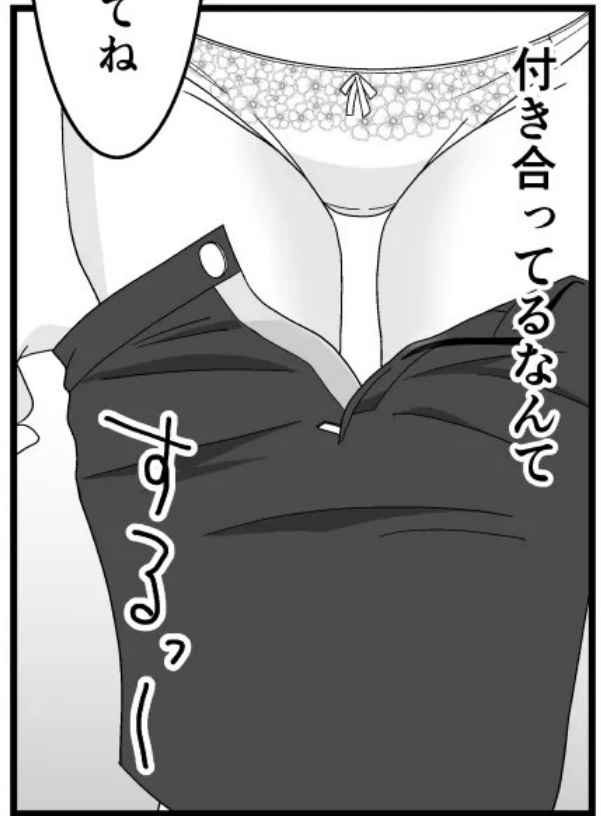
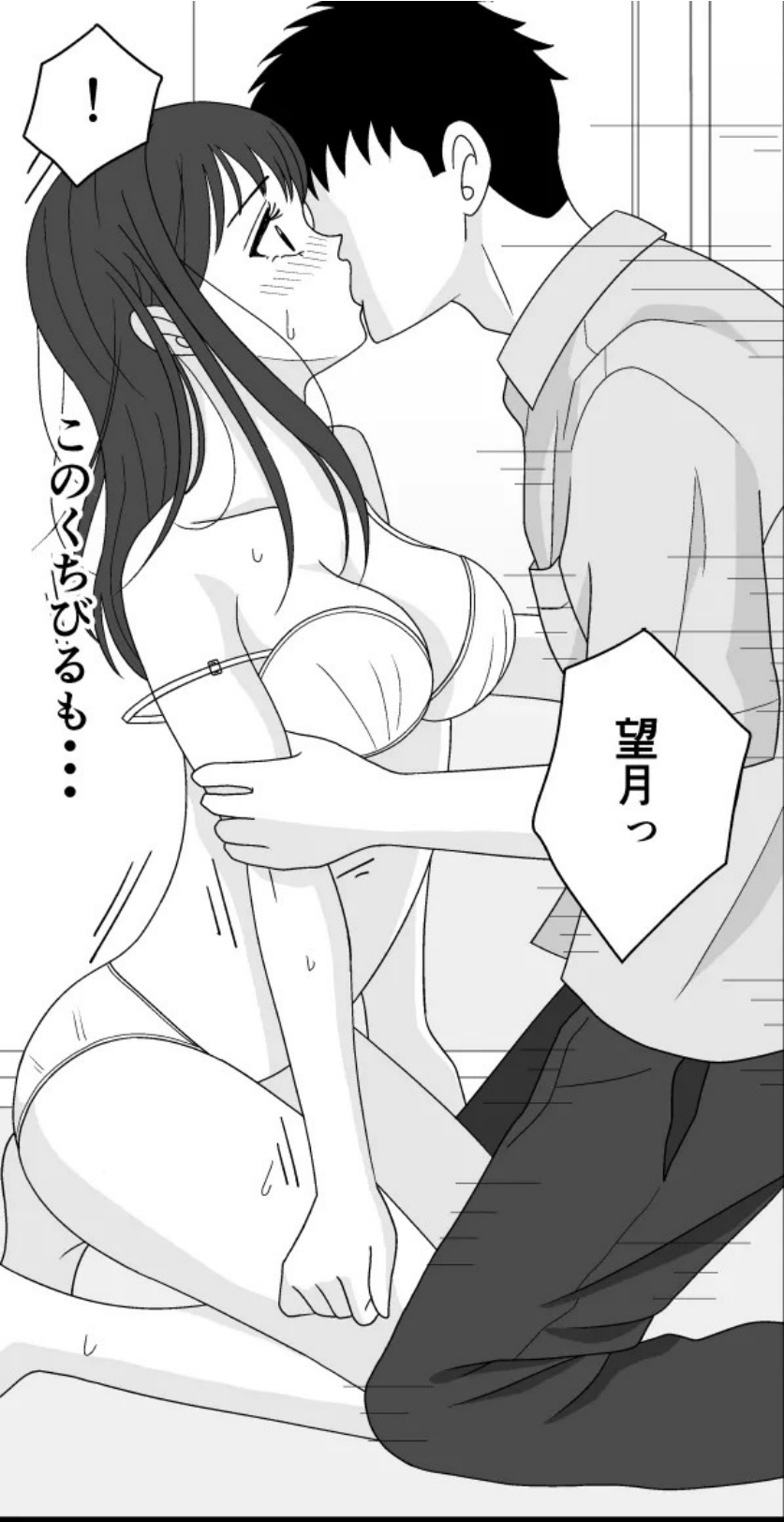
はーい

はーい



これは夢なんじゃないかって思う時がある

ん.....

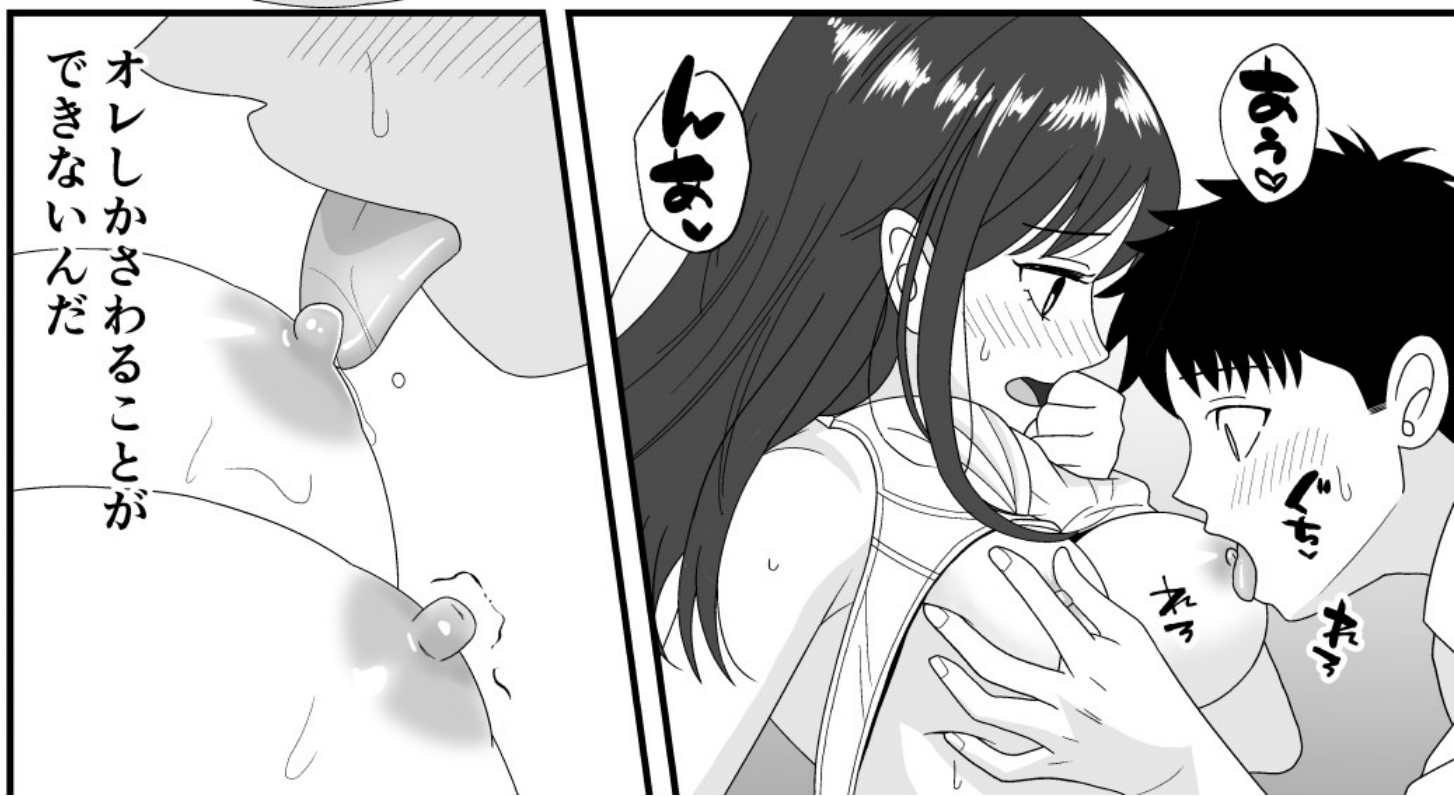




この大きくて綺麗なおっぱいも……

ん……あっ……

ぱんぱん



ん……

ん……

オレしかさわることが
できないんだ





ビキニ

ドキッ

モデルのように
スタイルの良い身体も...

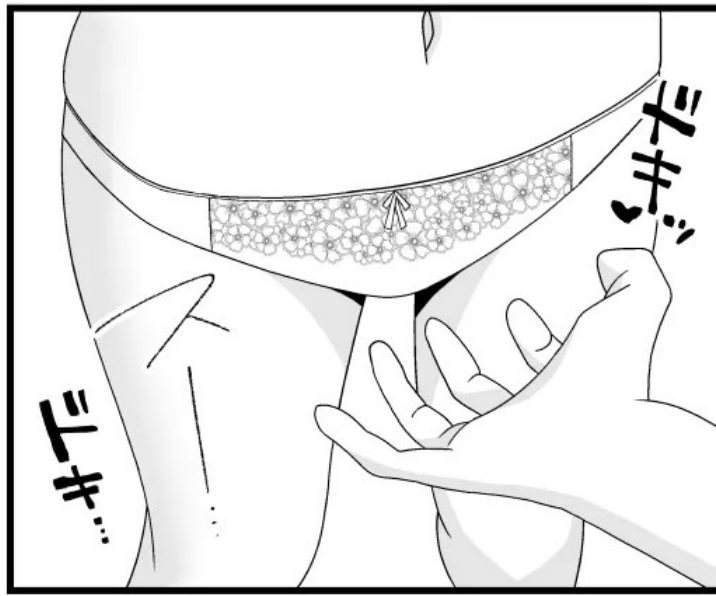
ドキッ
ドキッ
ドキッ



感じやすいところも...

ん...あつ...

ドキッ
ドキッ
ドキッ



ビキニ

ドキッ...



オレしかさわることが
許されないまんこも...

あんな

あ♡♡

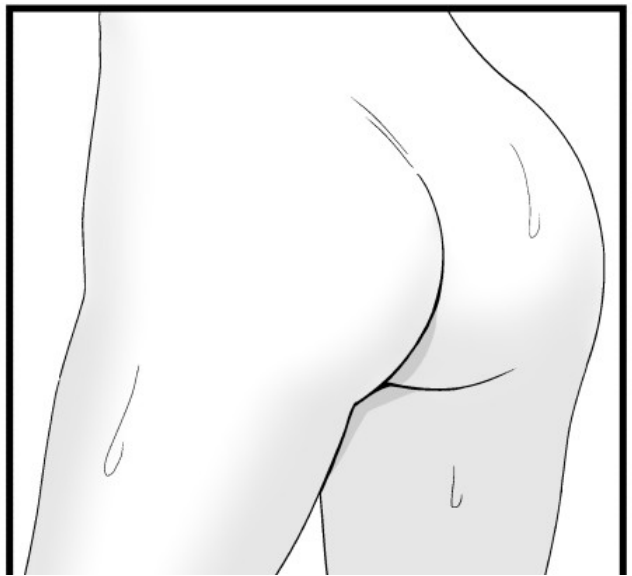
ドキッ
ドキッ
ドキッ
ドキッ
ドキッ
ドキッ



全部大好きだ!

ちよつ...
ちよつと待って

ドキッ
ドキッ
ドキッ
ドキッ
ドキッ



濃いめの陰毛や

ちゅっ

くちゅ

はい

はい

はい

ピンク色の乳首

えっ

濡れやすいまんこも

あん

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

あ♡♡

ちゅっ

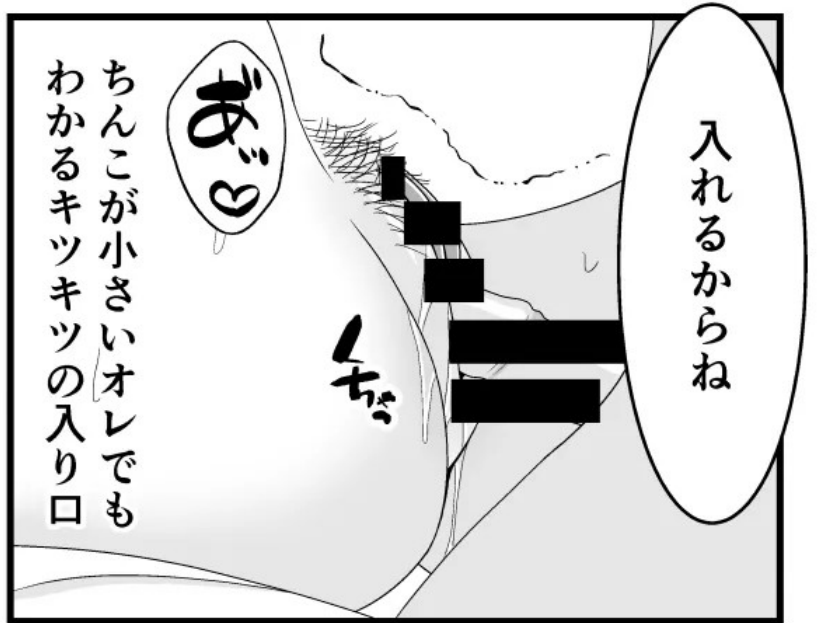
ちゅっ

すべてが最高

はい

ん

はい



動かすたびに繰り返される快感が体中を駆け巡って

ニギニギ

ニギニギ

ニギニギ

ニギニギ

ニギニギ

ニギニギ

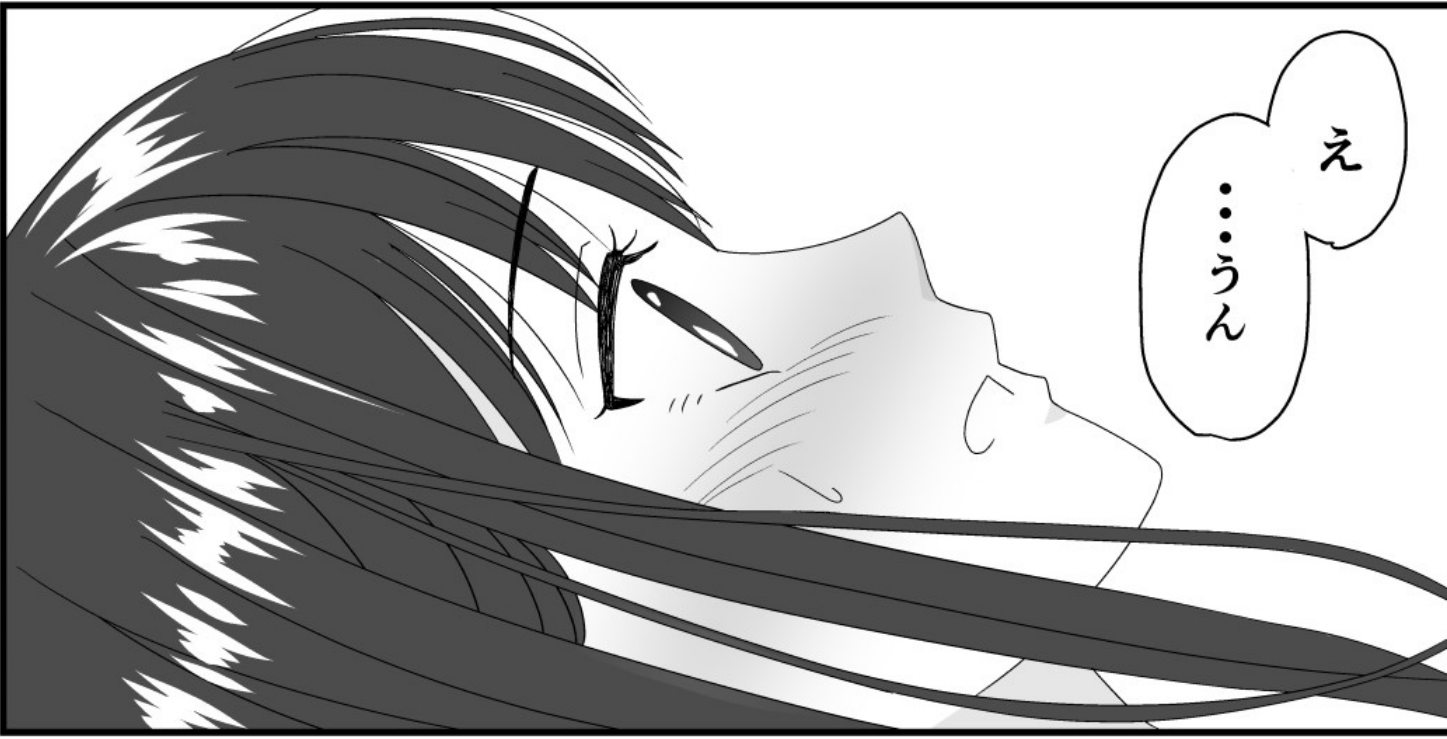
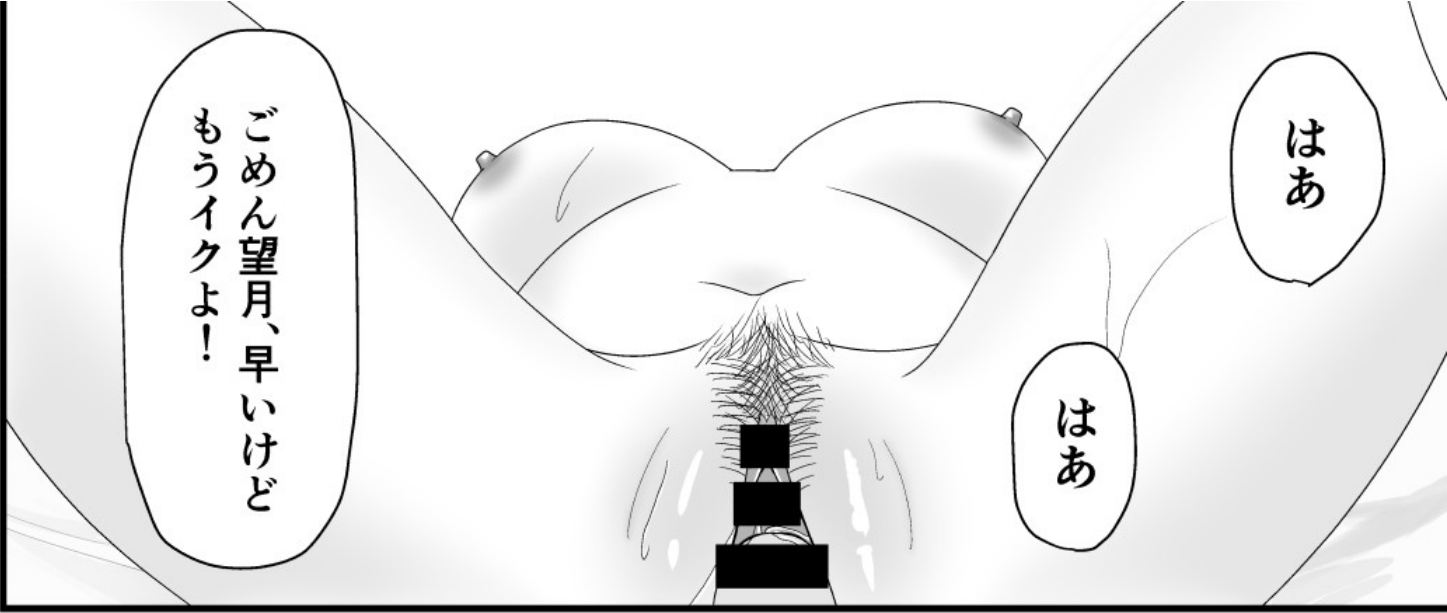
ニギニギ

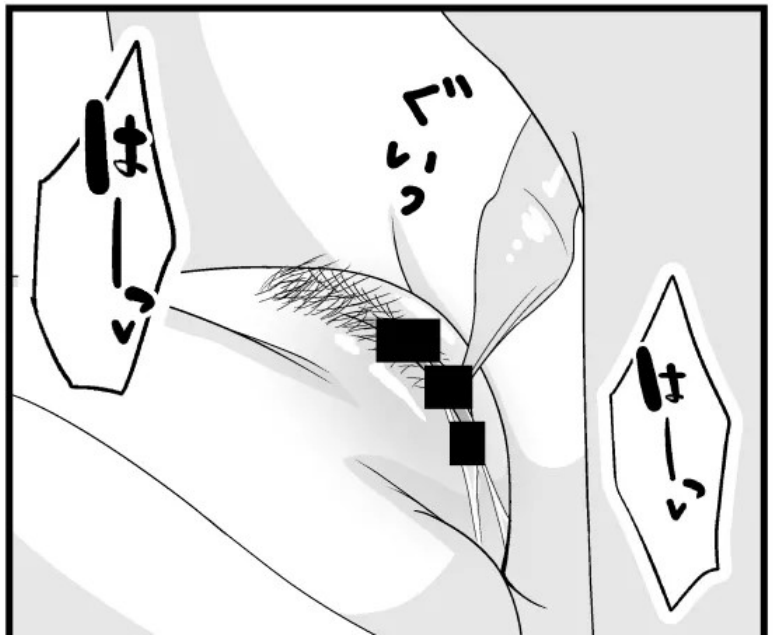
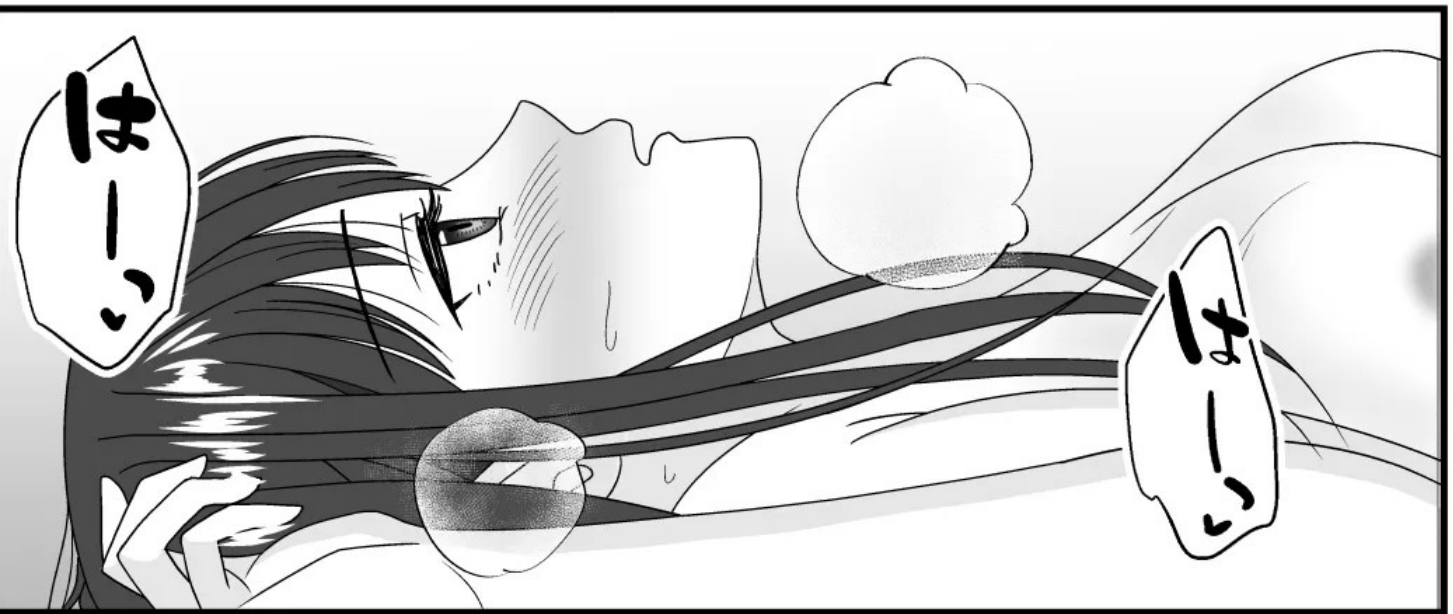
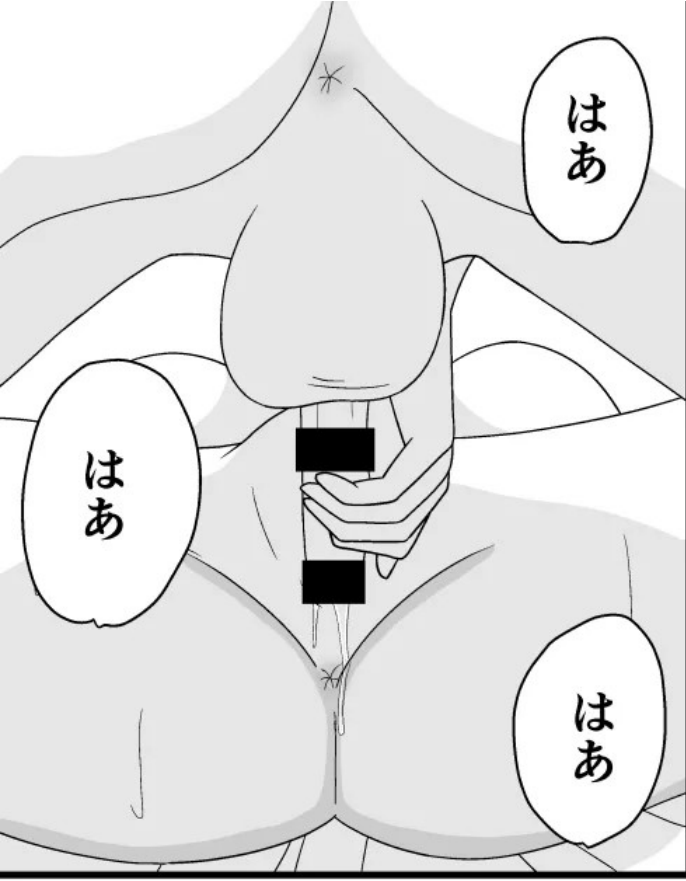
ニギニギ

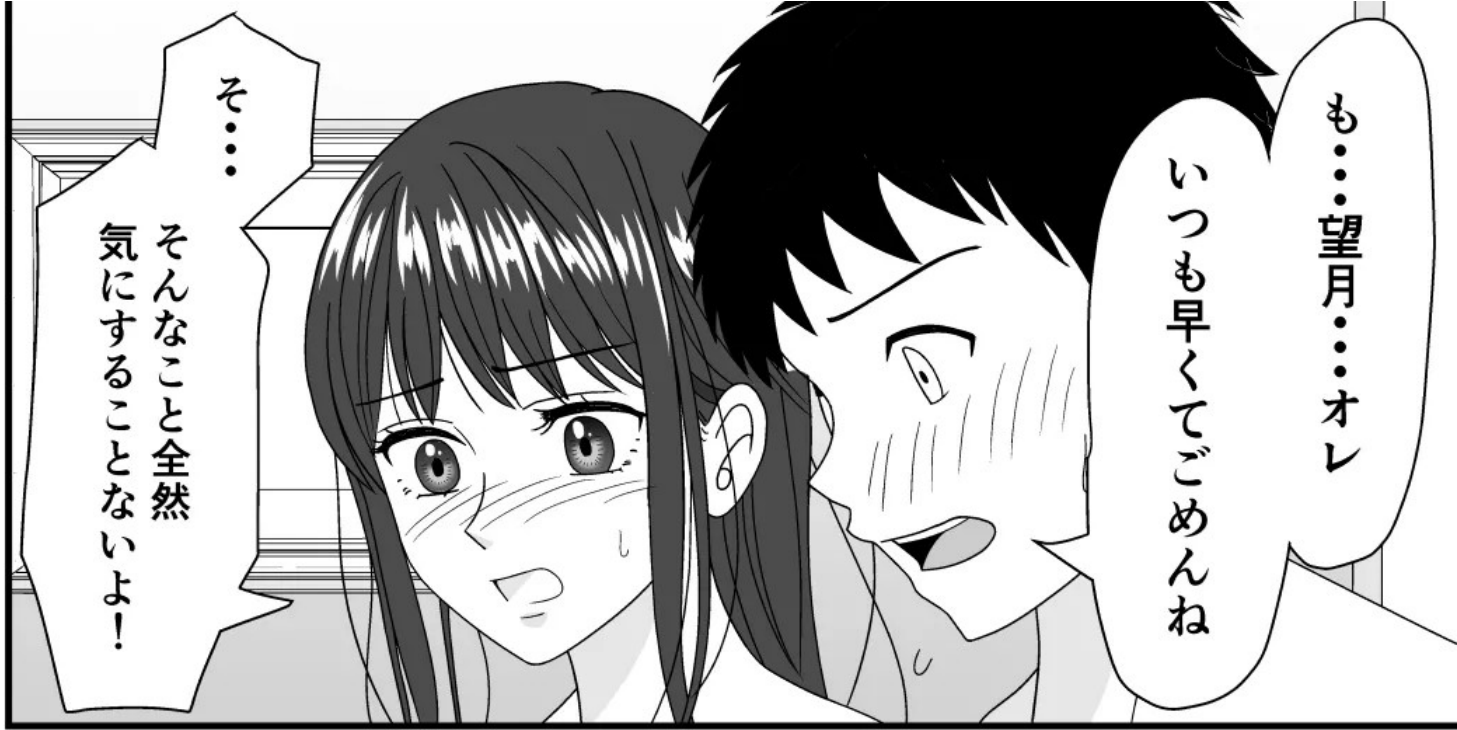
ニギニギ

脳がとけそうだ







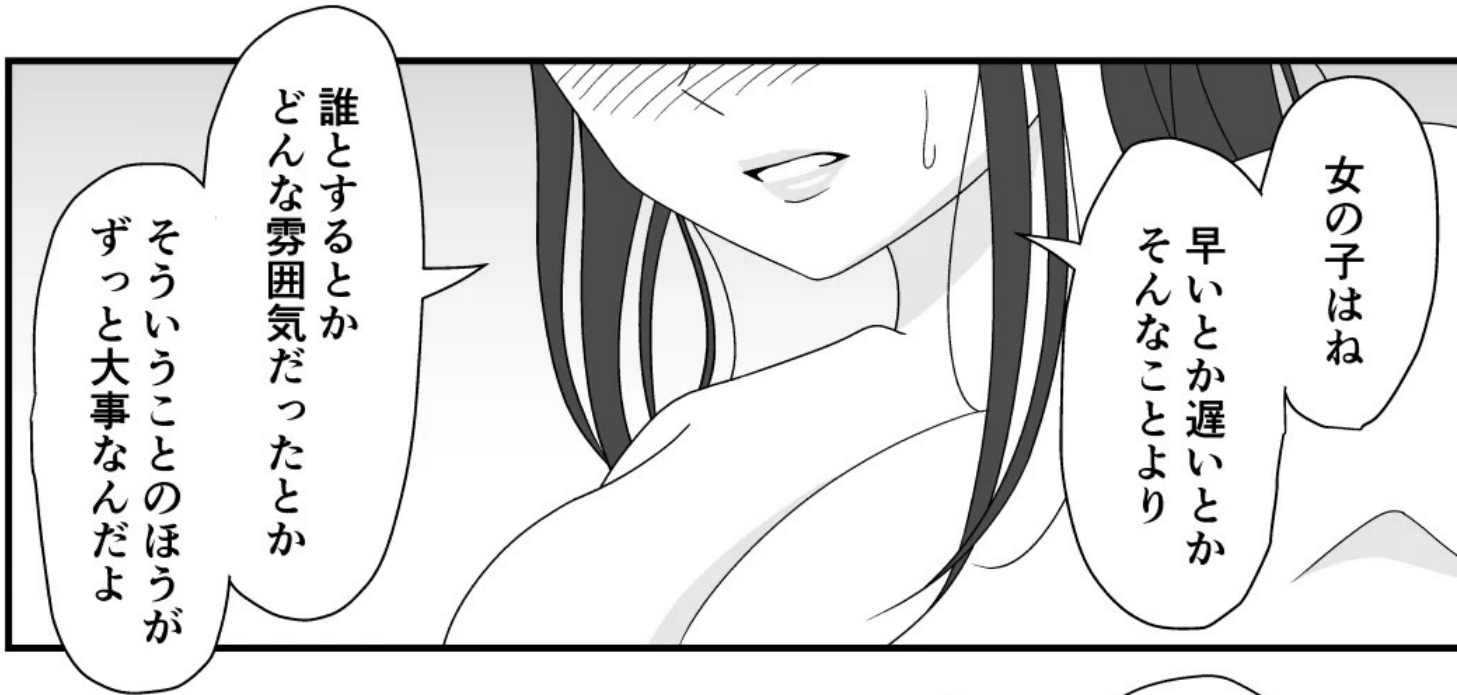


も・・・望月・・・オレ

いつも早くてごめんね

そ・・・

そんなこと全然
気にすることないよ!

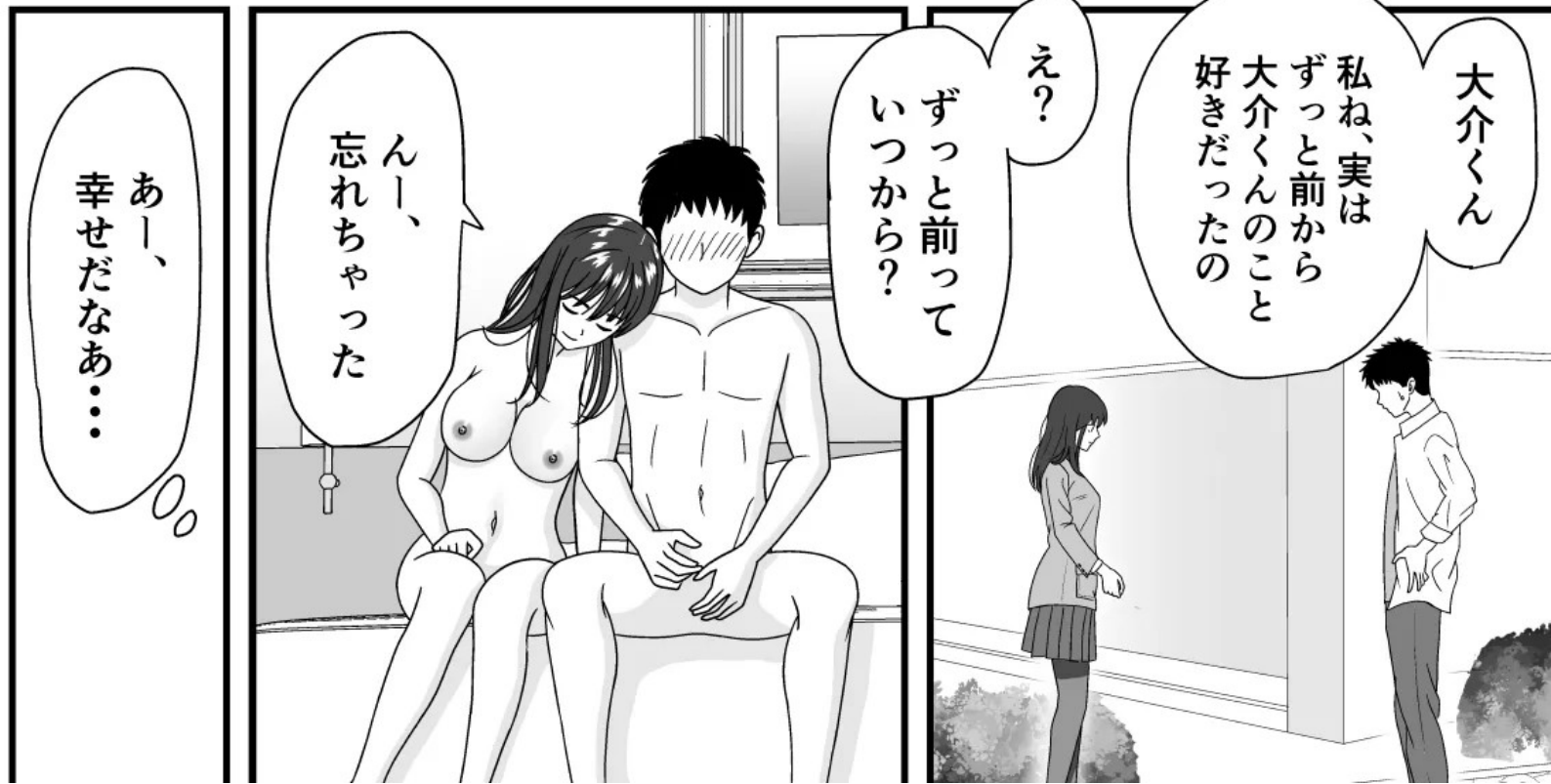


女の子はね

早いとか遅いとか
そんなことより

誰とするとか
どんな雰囲気だったとか

そういうことのほうが
ずっと大事なんだよ



大介くん

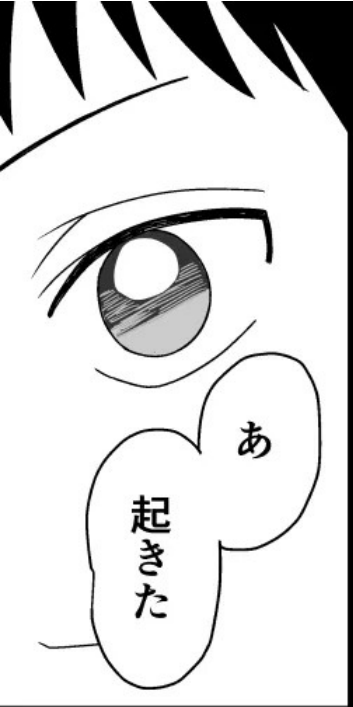
私ね、実は
ずっと前から
大介くんのこと
好きだったの

え？

ずっと前って
いつから？

んー、
忘れちゃった

あー、
幸せだなあ・・・



起きた

あ



んん…



でも私急な用事が
入っちゃって

行かなくちゃ
いけないんだ

そ、そーなんだ



ごめん
オレ寝ちゃって…

んーん、大丈夫

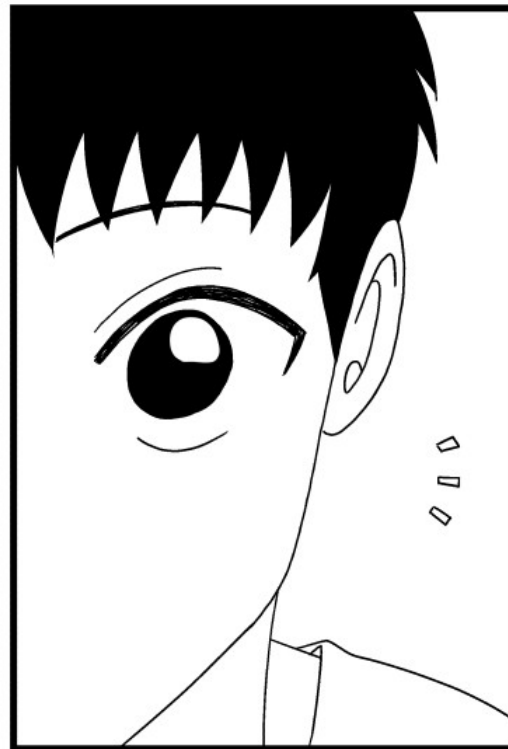
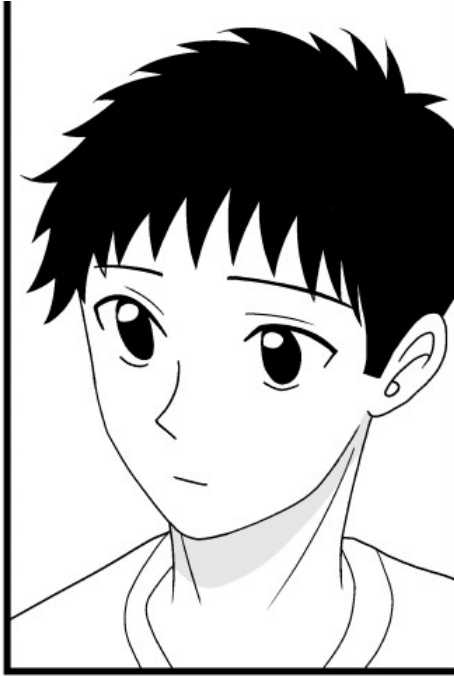


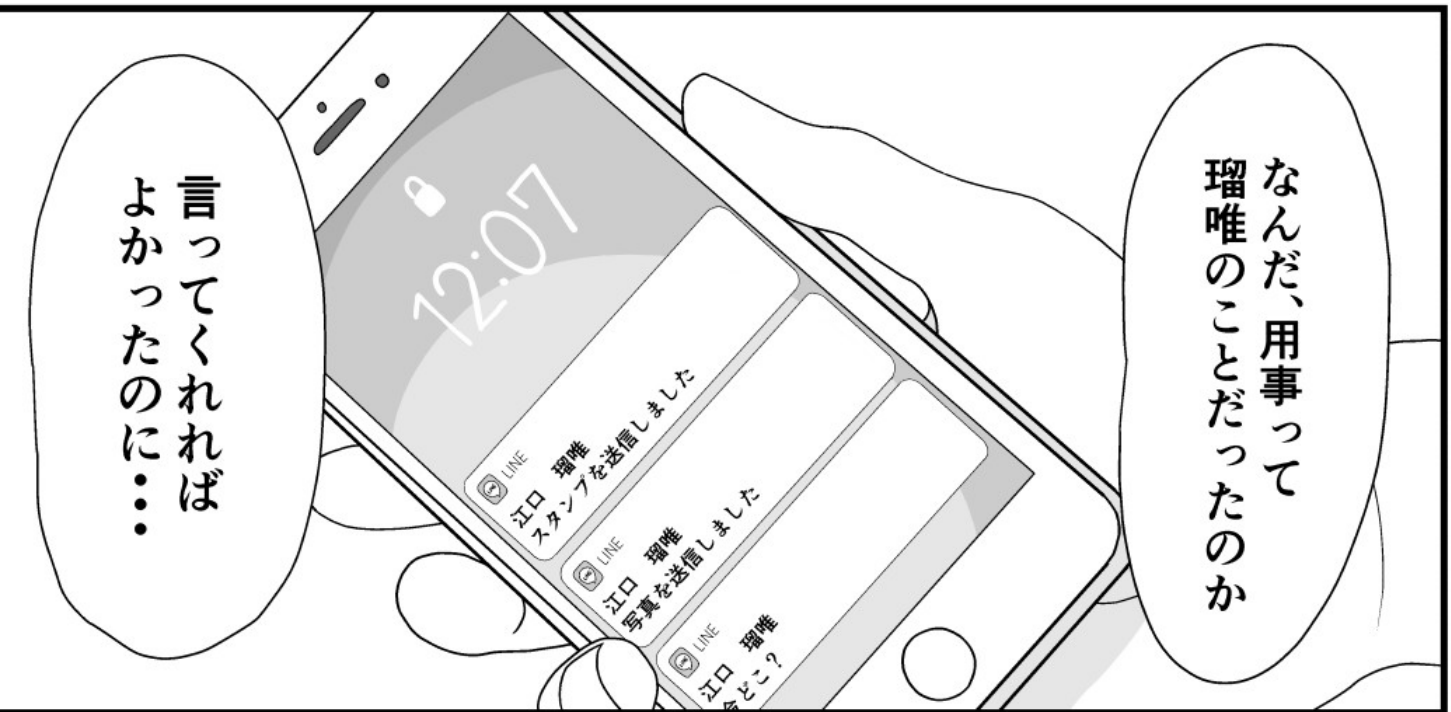
昨日はとっても
楽しかったね

また連れていってね

じゃあ

ちょっと行ってくるね







それにしてもこの二人
いつからこんな
仲が良かったんだ

何を企んでるんだ
ろうな……



ん？

動画？



LOL
~~~~~



前の動画なら見ても  
バレないよな……

魔が差したとしか言いようがなかった  
単純にオレの親友とどんなやりとりを  
しているのか興味があったんだ

オレと望月は信頼し合っていたし  
その証拠にお互いのロック番号も  
教え合っていた



よし！  
やるか

え？

動画？



誰にも見せないよ

それよりも約束だろ



動画撮るなんて  
聞いてないよ



...



え？...



まずはフェラ  
からだな

教えた通りしっかり  
やってくれよ

何をしているんだ望月

啜えたらカ리를包み込む  
ように舐め回すんだ

なんで望月が瑠唯のちんこを  
啜えているんだよ!!

そうそう  
まずは先っぽから

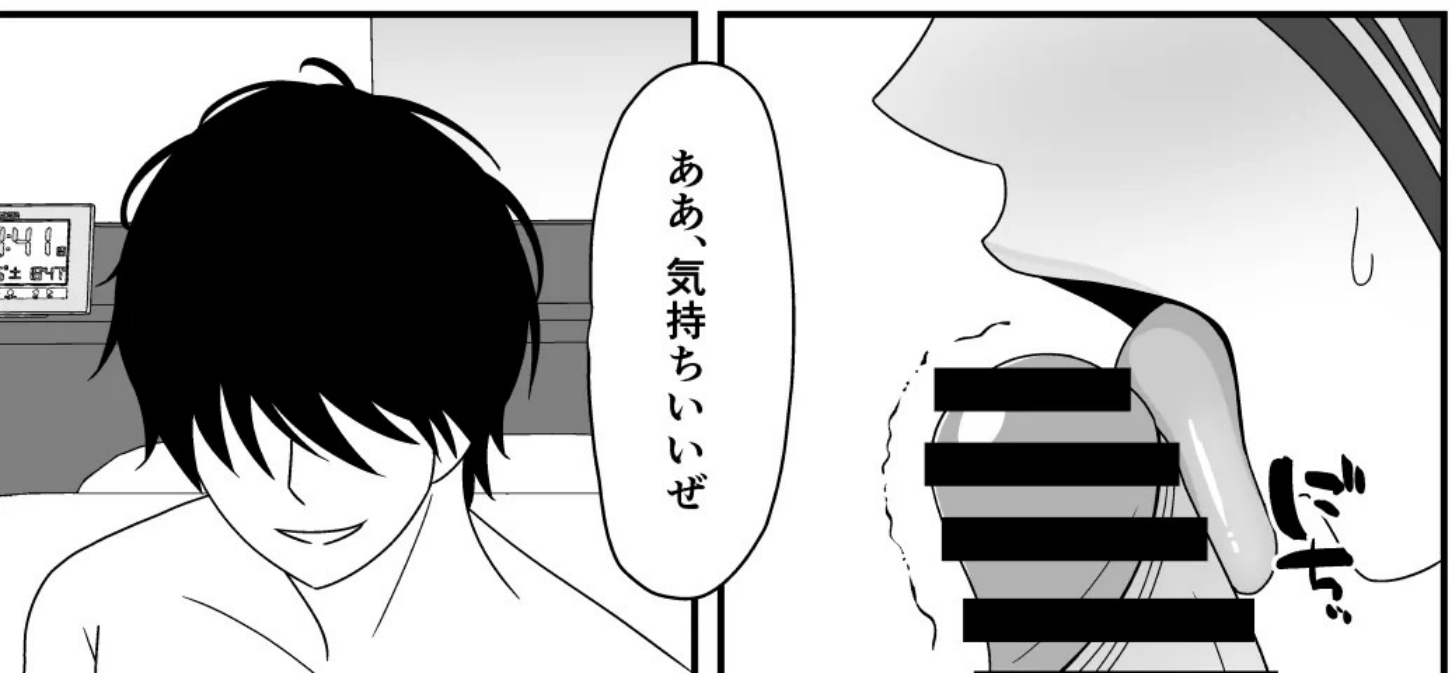
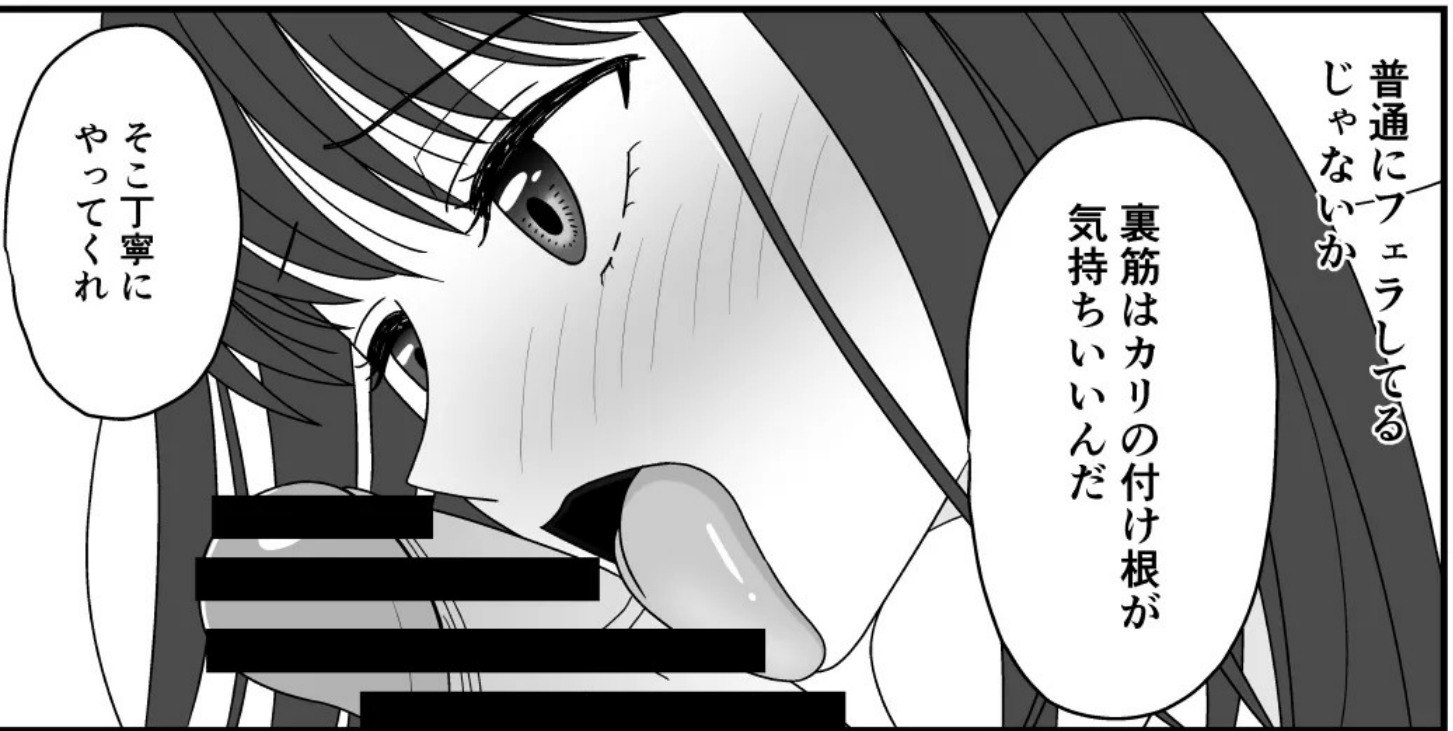
そんなことはやめてくれ

んっ

ああいいぞ  
上手くなってる

ニヤニヤ

望月フェラは苦手だって  
言ってたじゃないか...

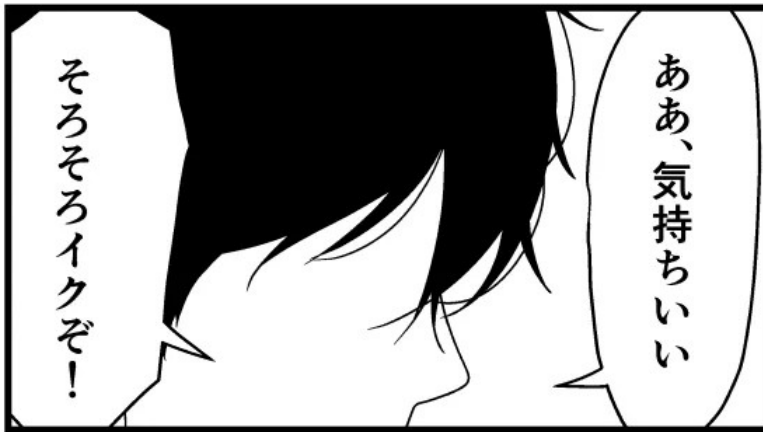




よし

次は啜えこんで  
上下にピストンだ

歯が当たらないように  
気を付けろよ



ああ、気持ちいい

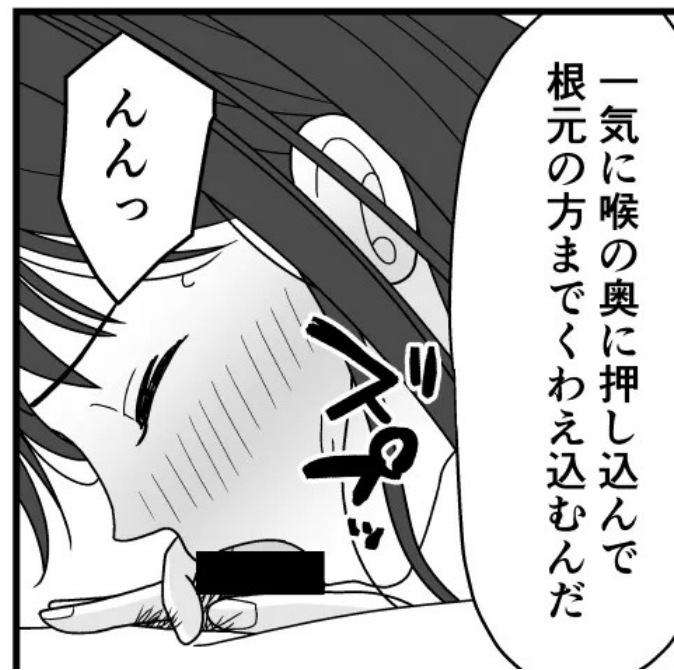
そろそろイクぞ！



先のほうにきたら尿道  
付近を舌でなぞるように



んんん



一気に喉の奥に押し込んで  
根元の方までくわえ込むんだ

んんっ





ゴク  
グン



はーい  
はーい



瑠唯の精子を飲んだ……



こっちに来いよ

お楽しみは  
これからだぜ

ニギ

はーい

ニギ

嘘だろコレ  
これ以上は本当に……

はーい



あんっ!

くち

くち

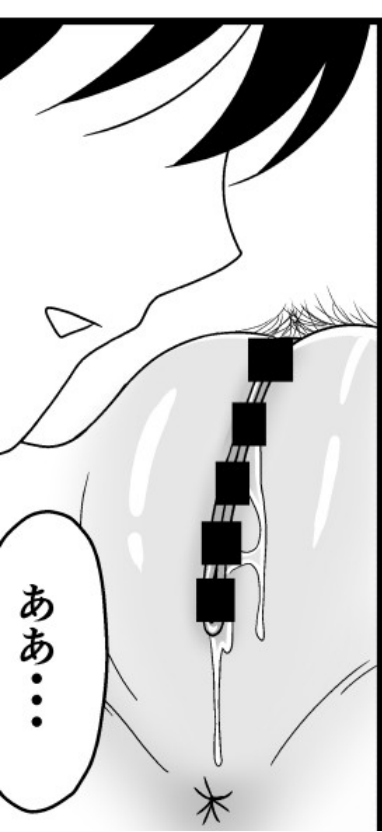
もうけっこう濡れてきてるな



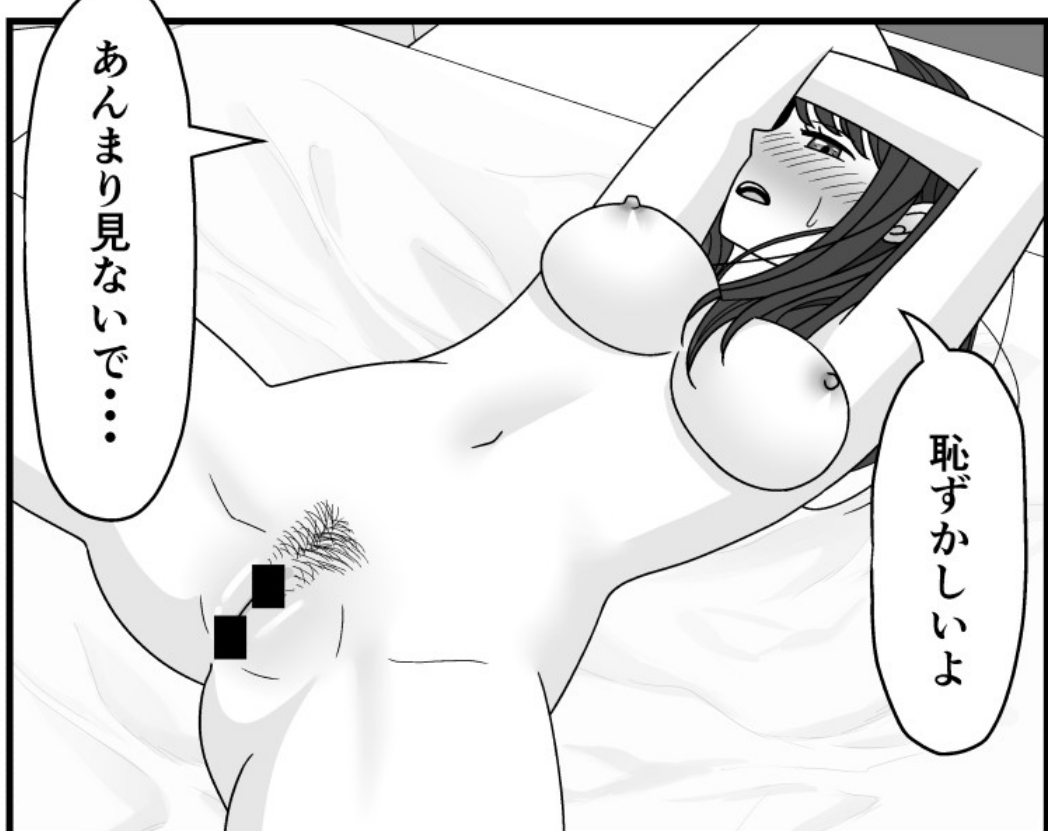
あ……



そこに寝そべって股を開いてよく見せてくれ



ああ……



あんまり見ないで……

恥ずかしいよ





ああ…

はい



それにしても  
スケベな身体だぜ

れろ



気持ちいいか？

こんなに感じてくれると  
舐めがいいがあるよ

れろ

れろ

れろ

れろ

ああっ

あッっ

はーい



ああ。。。  
オレの望月が汚されていく……



そんなところ舐めていいのは  
オレだけなのに……



そこに指を入れられるのは  
オレだけの特権なのに……

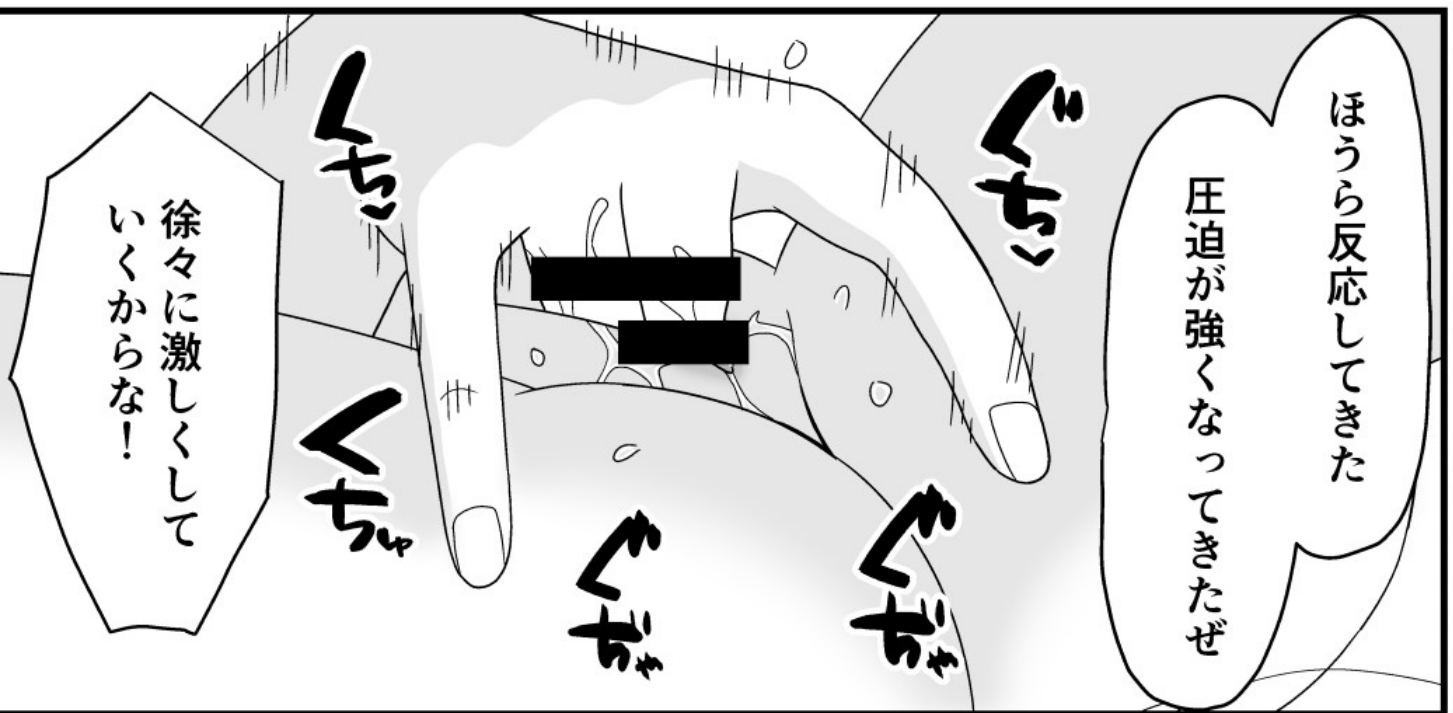
うあッ

んうう

そろそろアレ  
やっとか

なんで望月は抵抗しないんだ







潮吹き……

こんなに乱れた望月  
見たことない……

おねだりしないと  
あげないからな

そろそろお前の大好きなちんこが  
欲しくなってきたんじゃないか？

おい

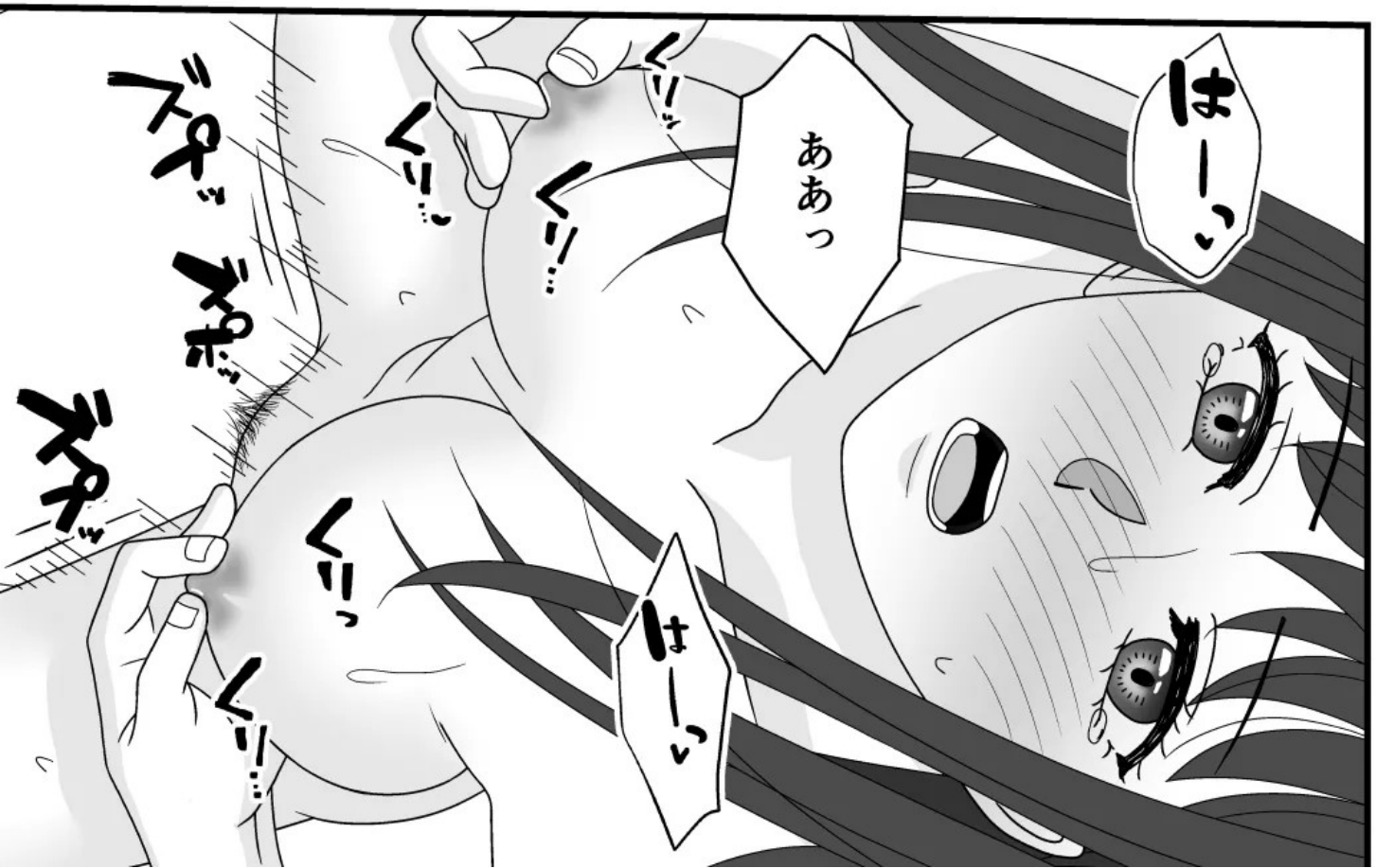
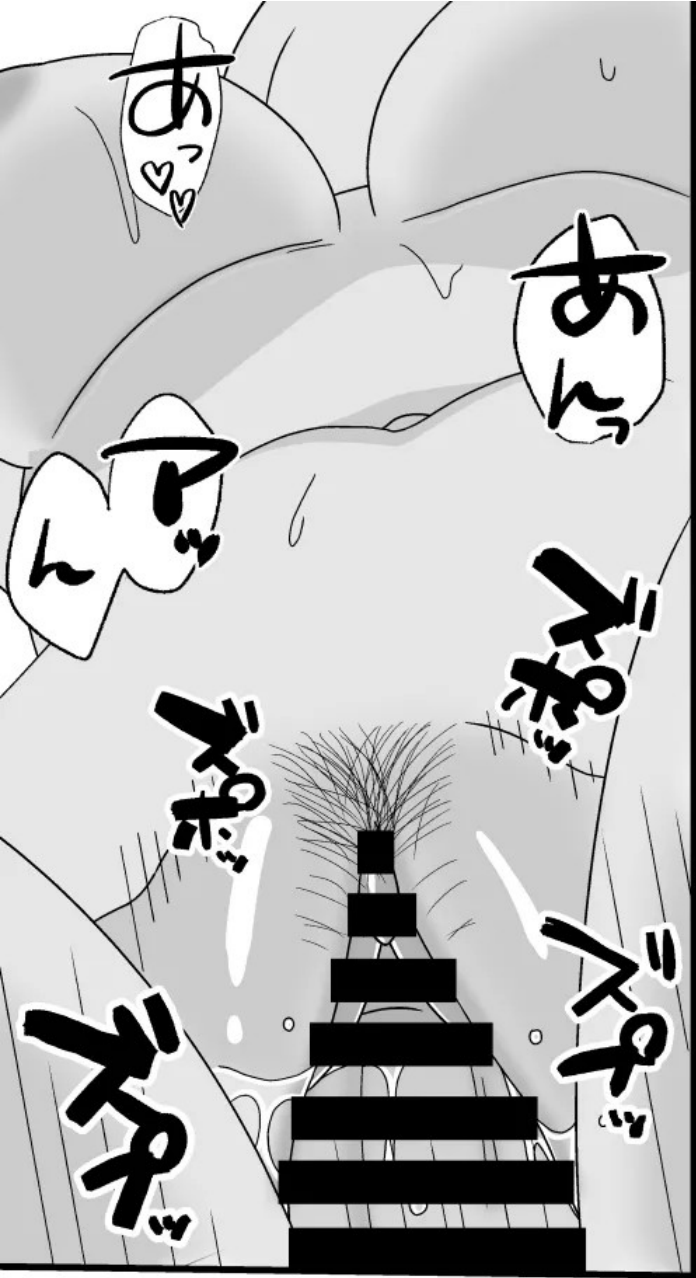
休むのはまだ早いだろ

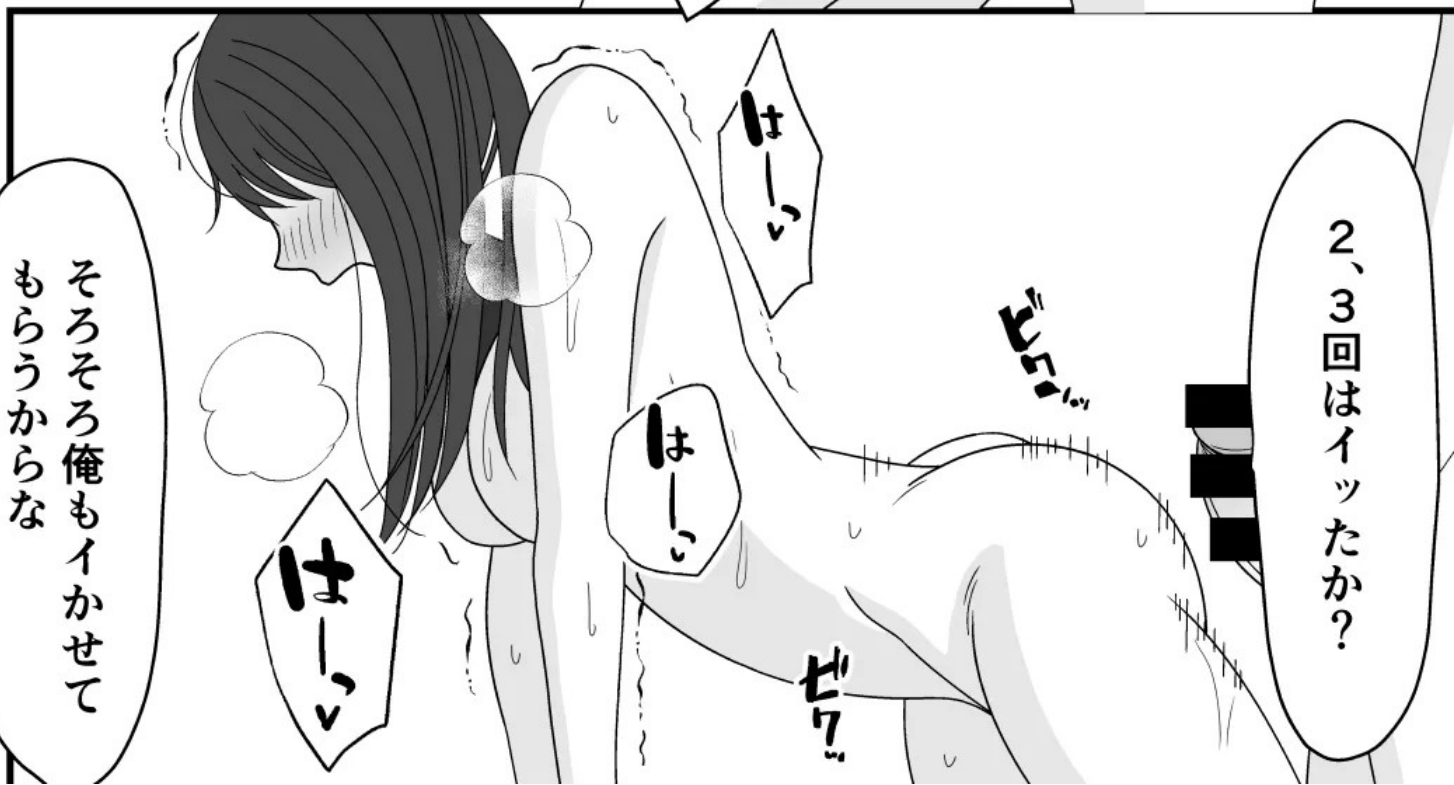
望月がそんなこと  
言うはずないだろ！

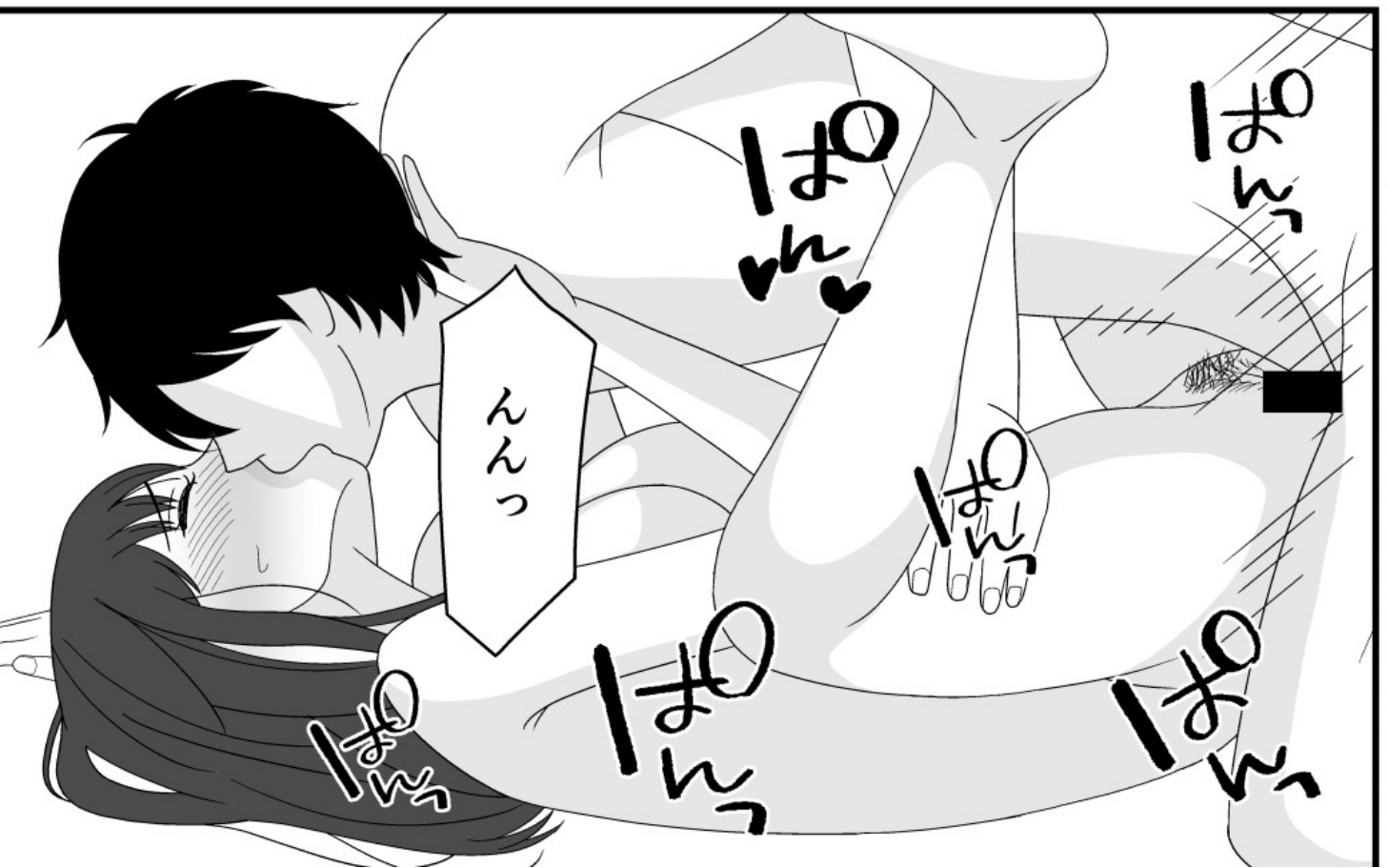
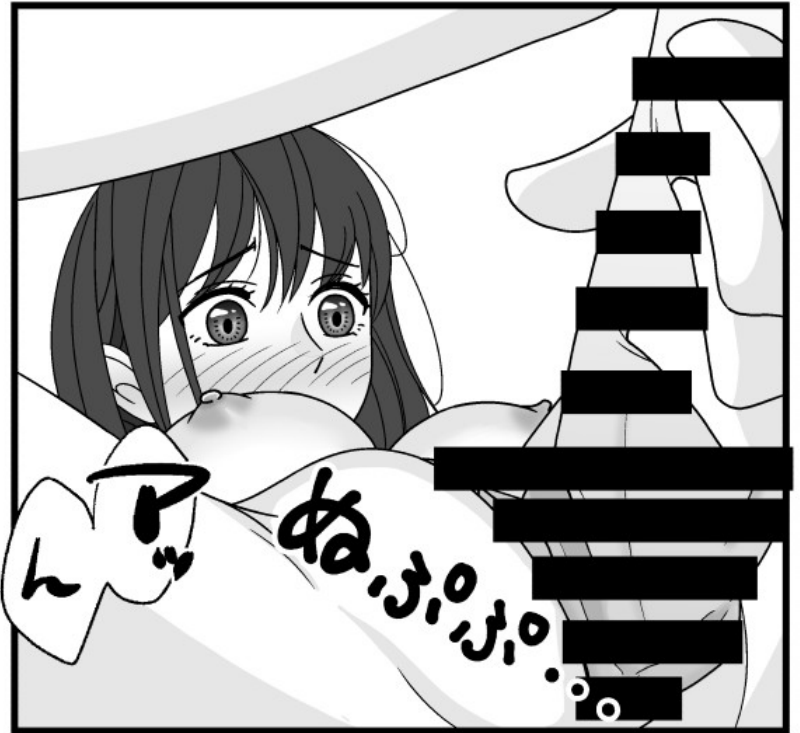














キスは…

はーっ

ダメ

はーっ



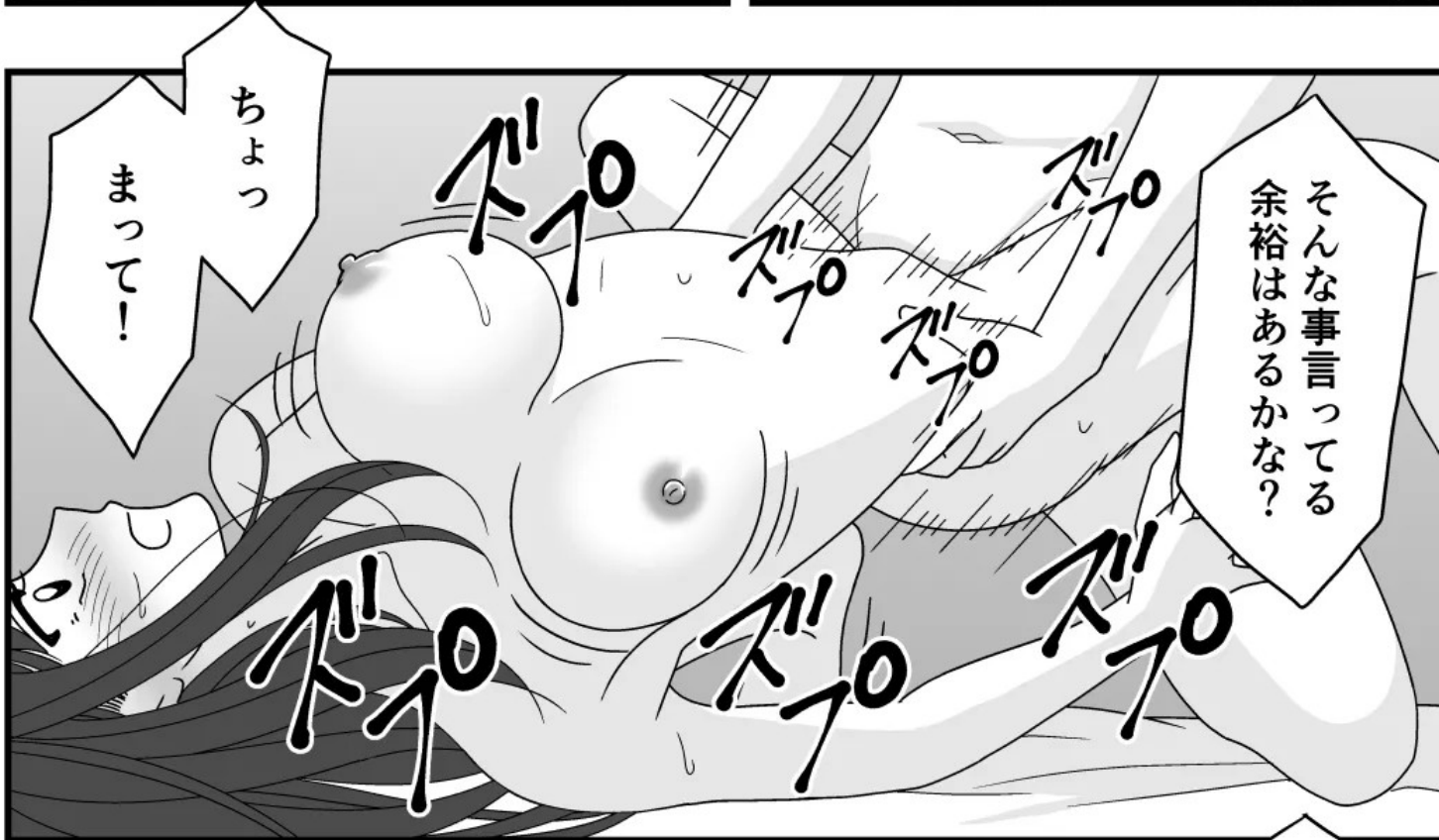
んん…

んんっ

れろ

れろ

れろ



そんな事言ってる  
余裕はあるかな？

ちよっ

まって！

ズッ

ズッ

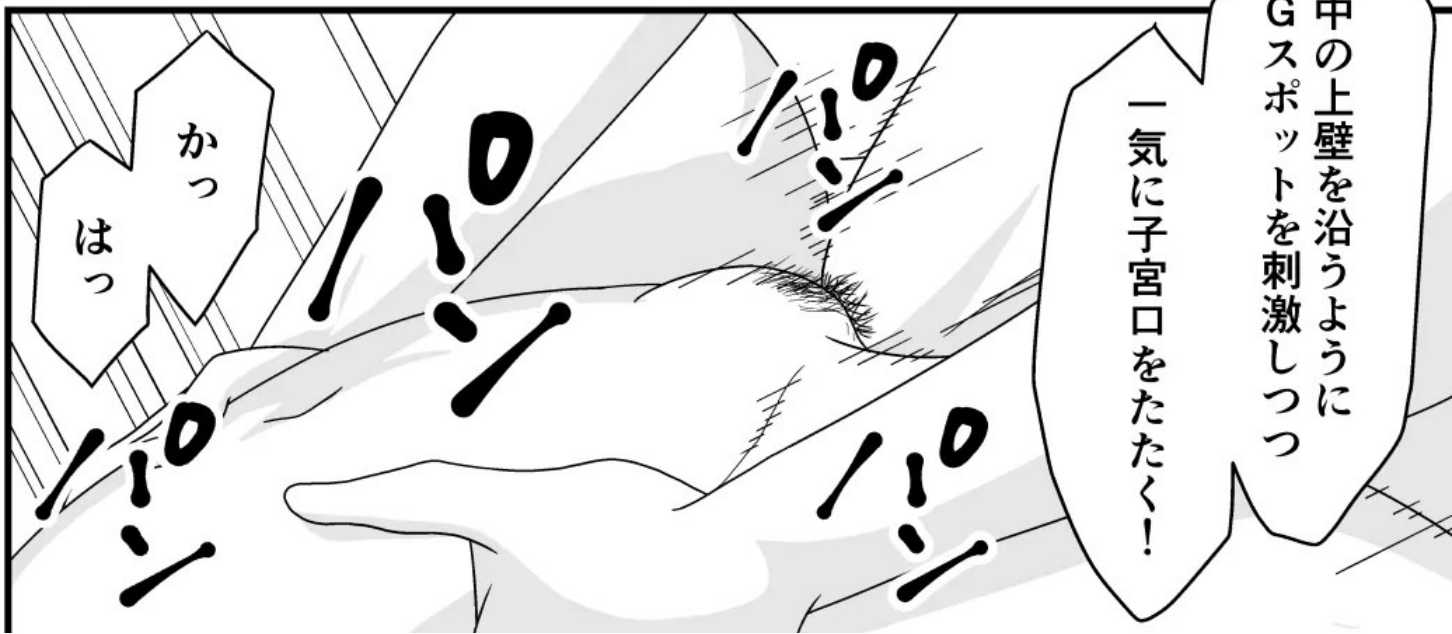
ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



中の上壁を沿うように  
Gスポットを刺激しつつ

一気に子宮口をたたく！

かっ

はっ

／＼

／＼

／＼

／＼

／＼

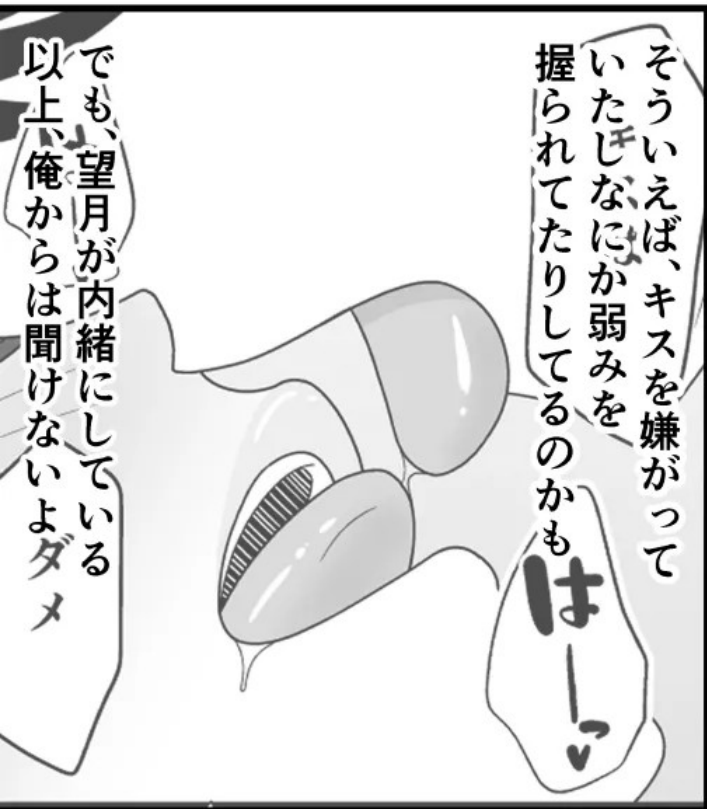






なんだコレ……まさか瑠唯とこんな事してるなんて

浮気だよなコレ……



そういえば、キスを嫌がって  
いたじなにか弱みを  
握られてたりしてるのかも

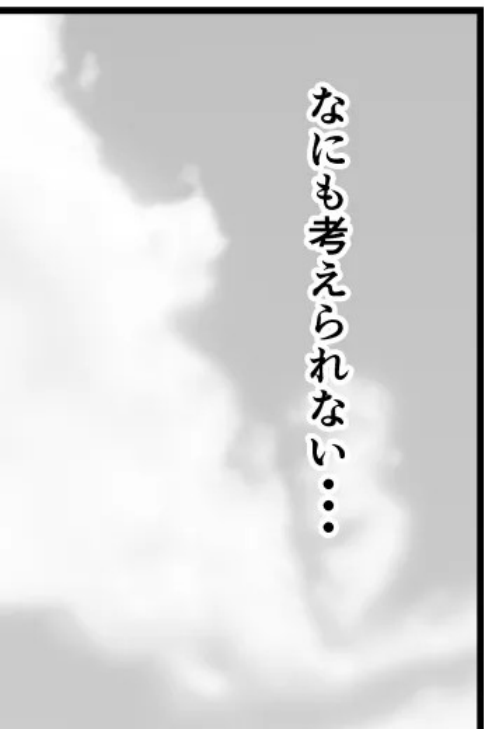
はー！

でも、望月が内緒にしている  
以上、俺からは聞けないよダメ

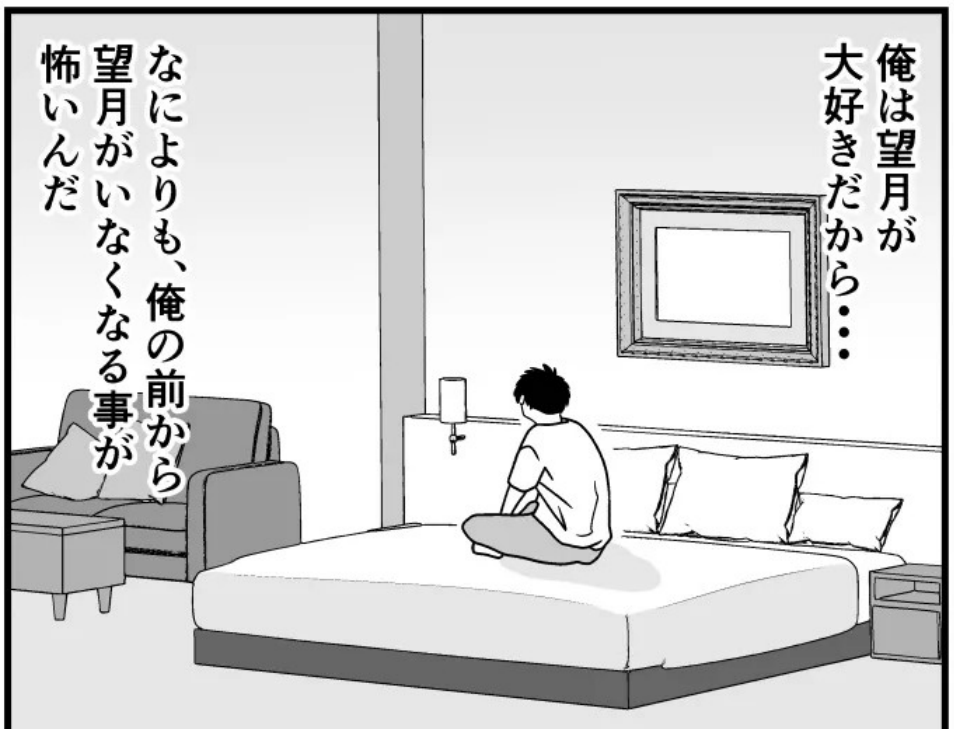


俺がちんこの小さい早漏野郎  
だから満足できなくて  
こんな事してんのかな？

○○○



なにも考えられない……



俺は望月が  
大好きだから……

なによりも、俺の前から  
望月がいなくなる事が  
怖いんだ

# あとがき

本書をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。

漫画初心者で絵が不安定ですが、今の自分が出せる全力で描きました。

まだまだ未熟ですが、これからも頑張って描いていきたいと思えます。

最後まで見ていただき本当にありがとうございました！

## 自慢の彼女が寝取られていた話

発行日 : 2024年7月25日  
サークル名 : くろねこのしっぽ  
発行者 : くろねこ  
Twitter : @kuroneko202310  
印刷所 :

- この作品はフィクションです。実在の人物・作品・団体・出来事などには関係ありません。
- この本は個人が非公式に発行したものです。そのため、公式設定に準拠していません。
- 18歳未満の閲覧は禁止です。本書の転載、編集、トレース、転売、使用を禁止します。

●This is a work of fiction. Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.

●This work is an unofficial publication by a private individual.

It does not represent any official point of view.

●ADULTS ONLY 18+. DO NOT REPOST, EDIT, TRACE, RESELL OR USE MY WORKS.